

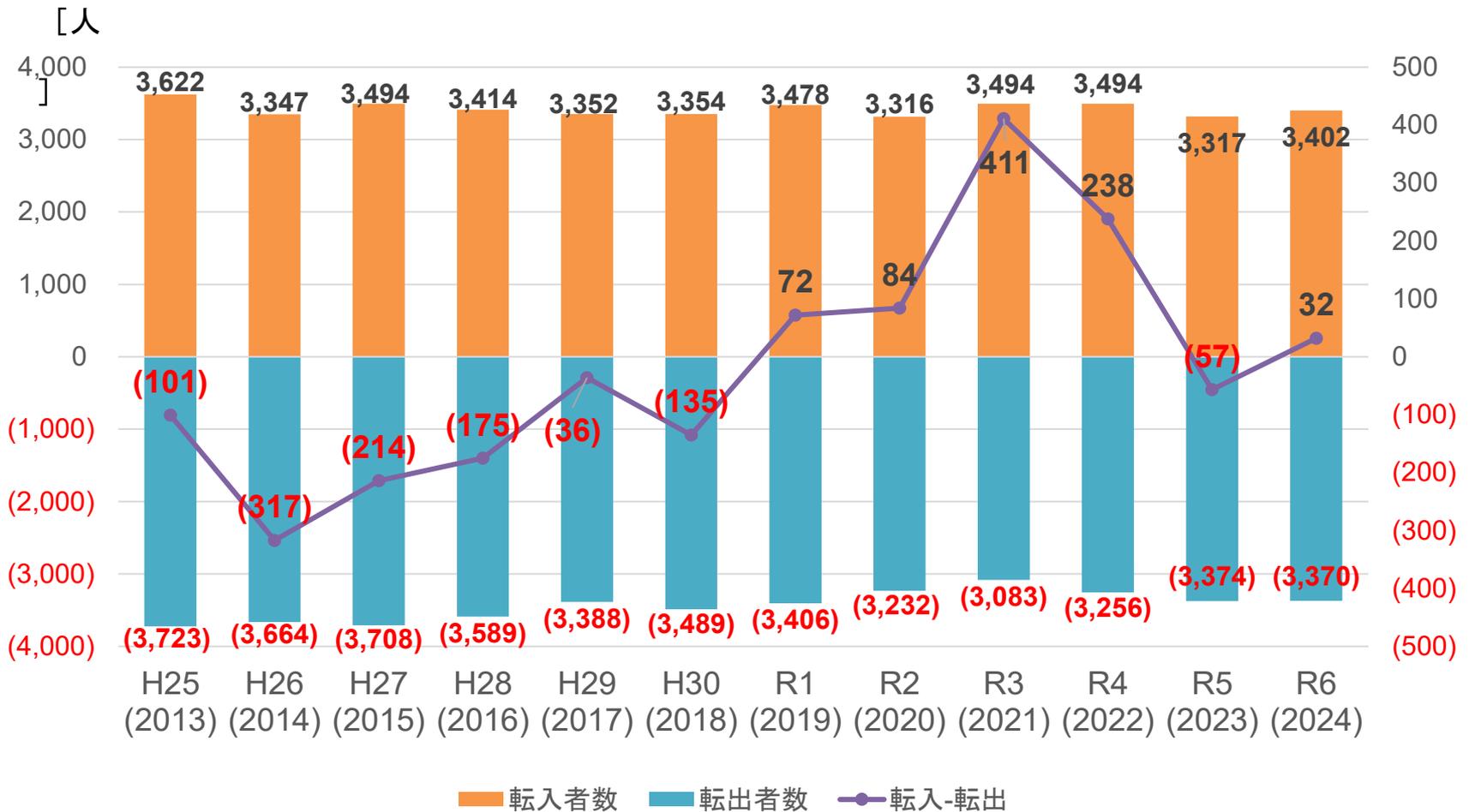
令和6年 転入転出の状況について

出典：住民基本台帳人口移動報告



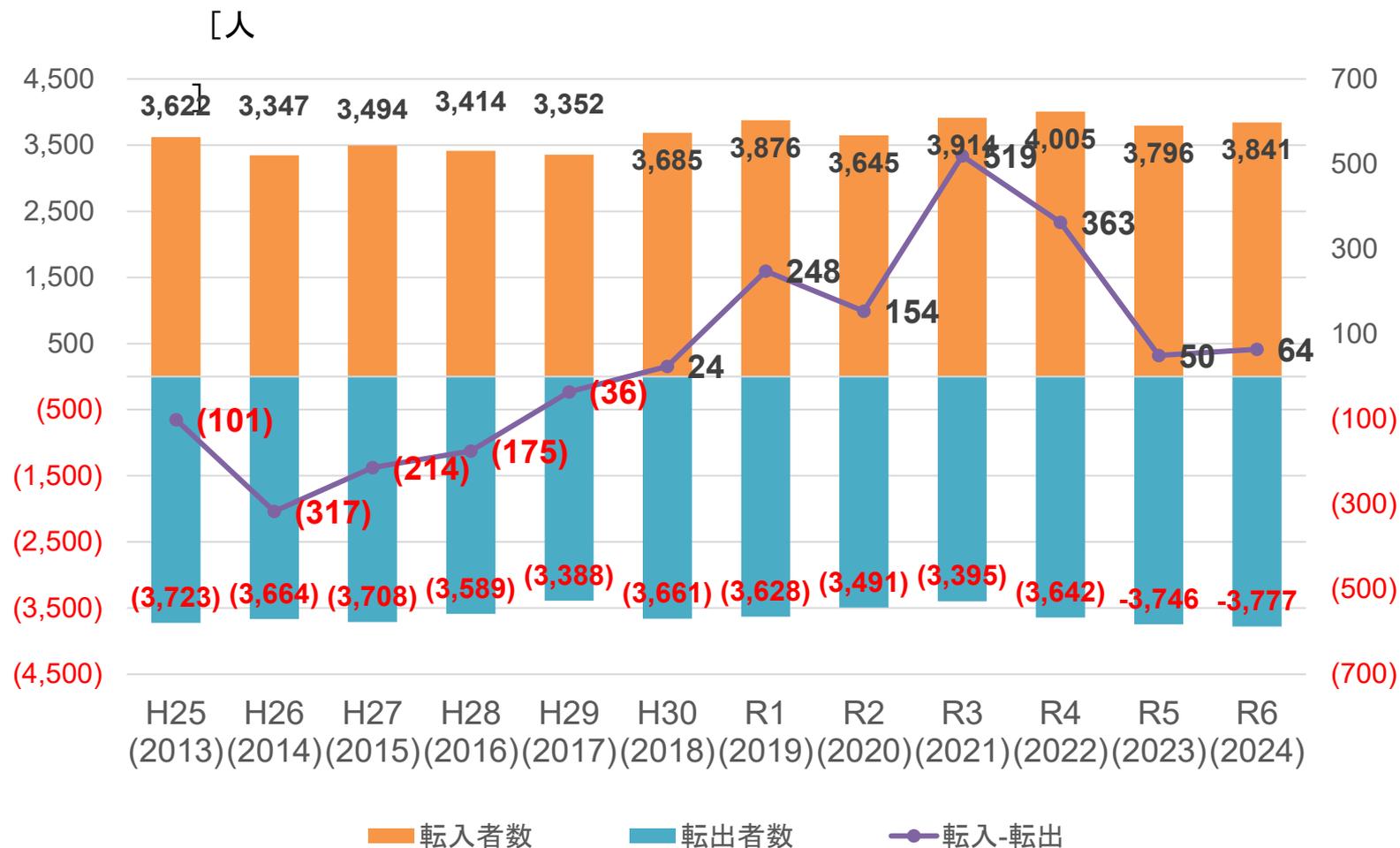
好きを、編む。
那須塩原市

那須塩原市 転入者・転出者数の推移（日本人のみ）



市内の社会増減は、R1(2019)年以降転入超過となっている。
R5(2023)年は転出超過となったが、R6(2024)年は転入超過に回復。

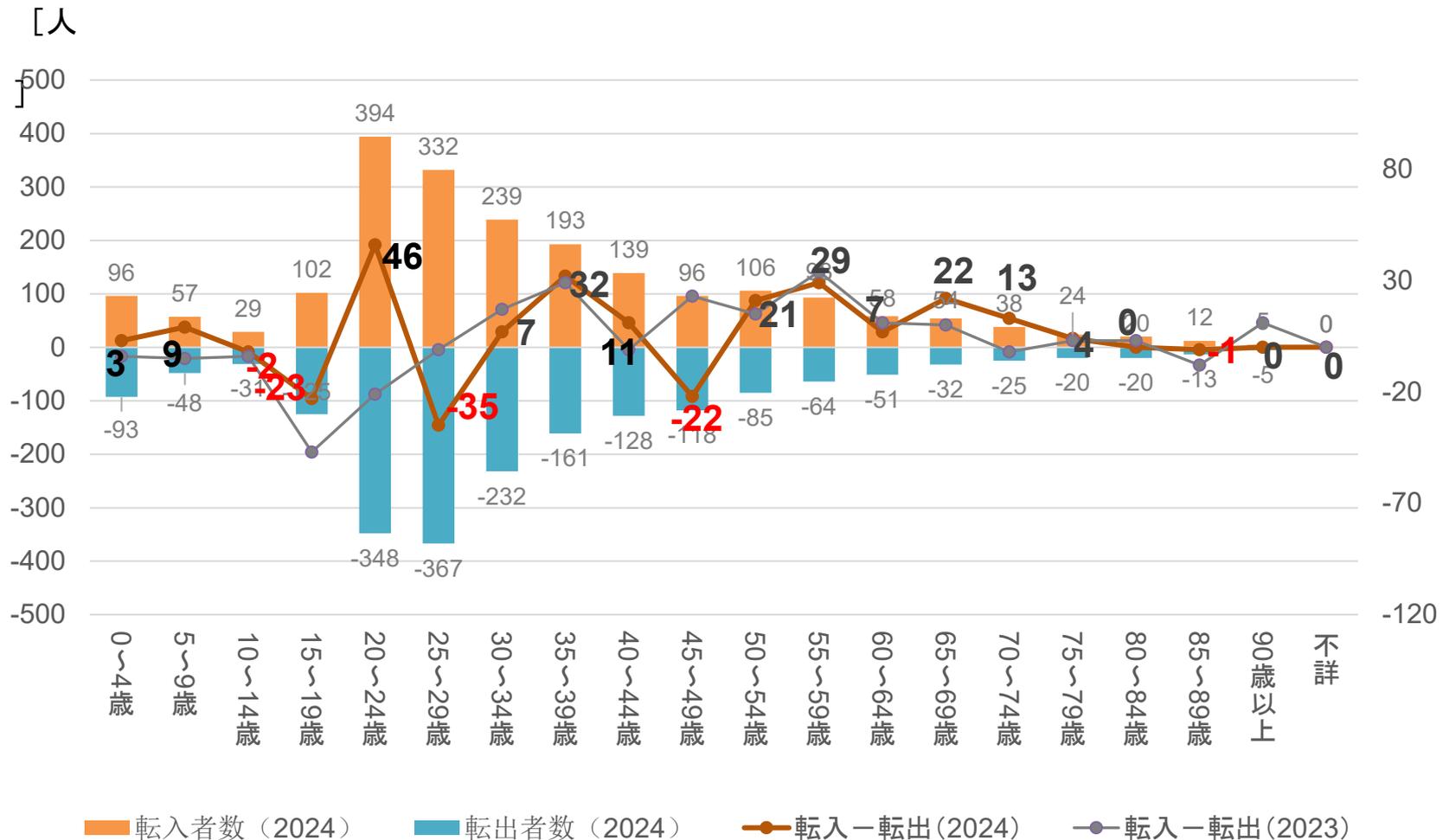
那須塩原市 転入者・転出者数の推移(外国人含む)



外国人を含めた全体では、H30（2018）年から転入超過に転じている。

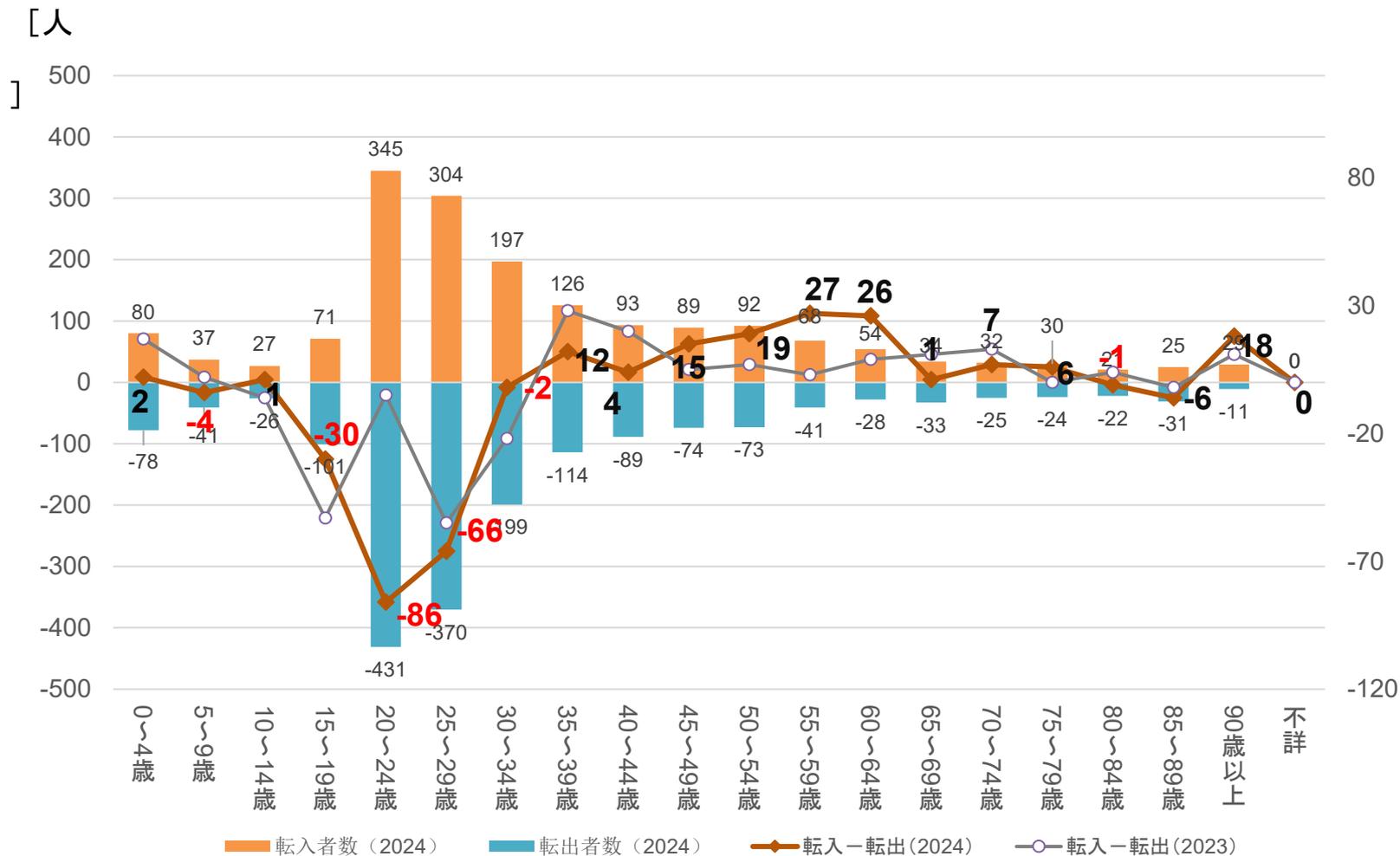
* 住民基本台帳人口移動報告は、H29（2017）までは日本人のみで集計、H30（2018）以降は外国人を含んで集計

年齢階級別転入者・転出者数(男)



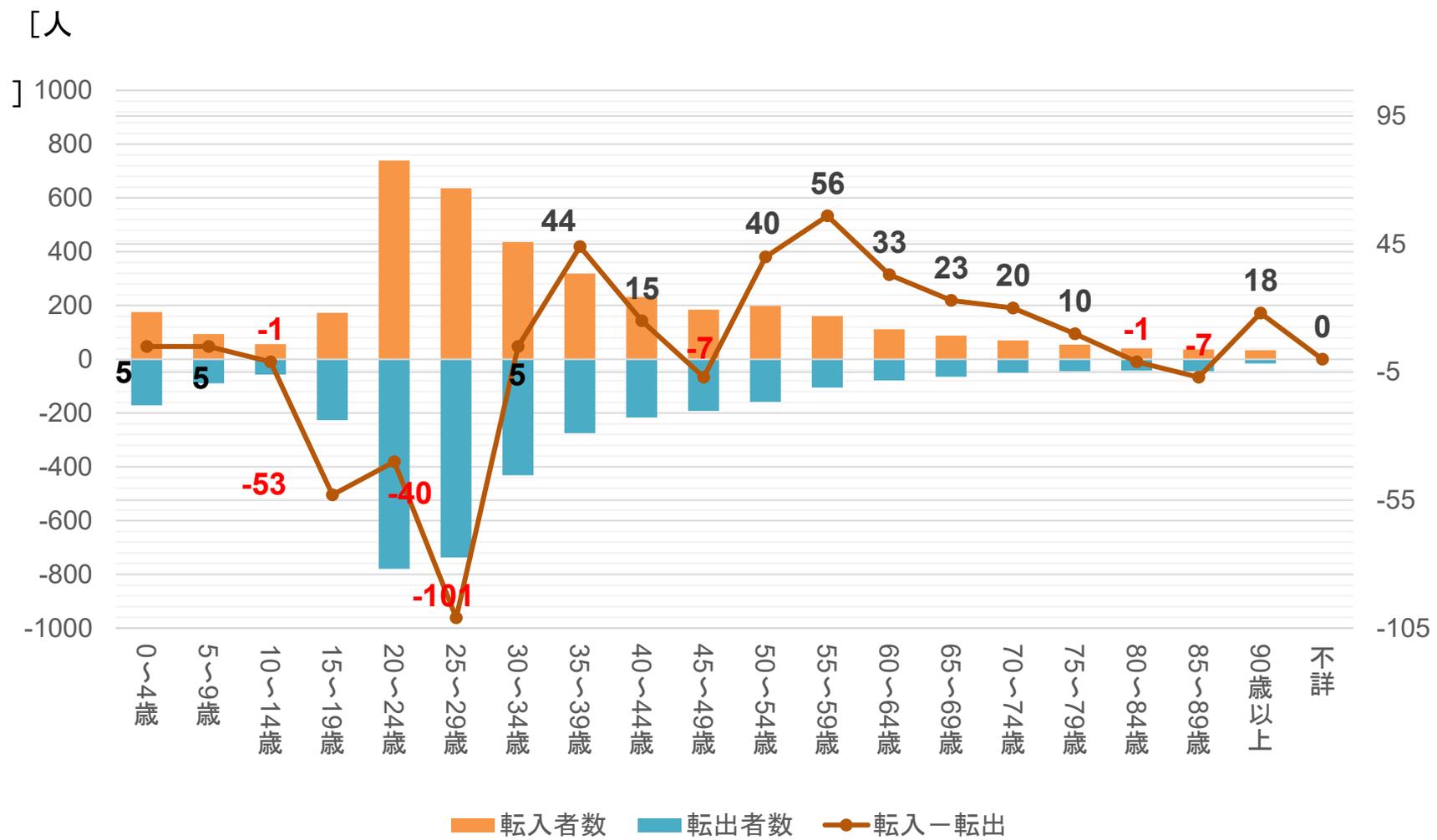
10代、20代後半は転出超過、20代前半、30代以上は転入超過の傾向。

年齢階級別転入者・転出者数(女)



女性は10代から、30代前半まで転出超過となっている。
全世代を合計しても女性は転出超過となっている。

那須塩原市：年齢階級別転入者・転出者数（全体）



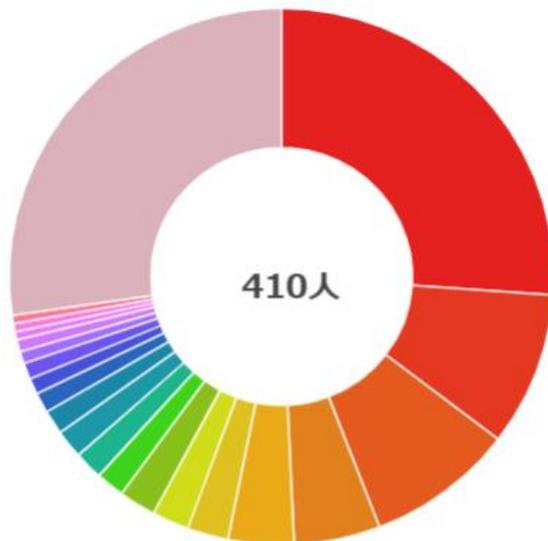
20代以下の年代で転出超過となっている。

※若年世代に都心回帰の傾向がみられる。

那須塩原市：市町村別転入超過数・転出超過数の内訳

転入超過数内訳

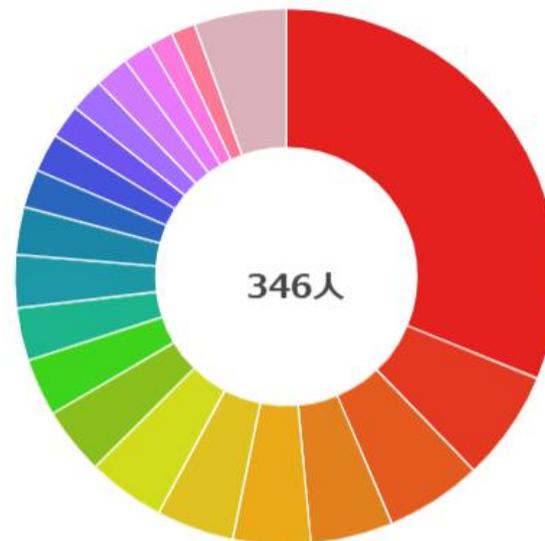
総数 総数



- 1位 栃木県那須町 107人 (26.10%)
- 2位 福島県白河市 38人 (9.27%)
- 3位 福島県郡山市 36人 (8.78%)
- 4位 栃木県大田原市 21人 (5.12%)
- 5位 栃木県矢板市 16人 (3.90%)
- 6位 栃木県足利市 10人 (2.44%)
- 7位 埼玉県春日部市 9人 (2.20%)
- 8位 東京都葛飾区 9人 (2.20%)
- 9位 福島県いわき市 7人 (1.71%)
- 10位 群馬県伊勢崎市 7人 (1.71%)

転出超過数内訳

総数 総数



- 1位 栃木県宇都宮市 108人 (31.21%)
- 2位 栃木県小山市 23人 (6.65%)
- 3位 埼玉県川口市 20人 (5.78%)
- 4位 栃木県下野市 17人 (4.91%)
- 5位 栃木県栃木市 16人 (4.62%)
- 6位 栃木県さくら市 16人 (4.62%)
- 7位 東京都江戸川区 16人 (4.62%)
- 8位 福島県西郷村 14人 (4.05%)
- 9位 栃木県佐野市 12人 (3.47%)
- 10位 東京都世田谷区 11人 (3.18%)



転入超過数 ・ ・ ・ 約4割が県内からの転入者。
 転出超過数 ・ ・ ・ 約半数が県内の他市町に転出。

出典：REASAS